


カーボンフットプリント 登録情報



1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-CI05-15015-A	1.7 製品写真 
1.2	製品名称 (日本語)	日立OCRソリューション Imaging OCR HT-4165-28	
	製品名称 (英語)	Hitachi Imaging OCR HT-4165-28	
1.3	製品型式	HT-4165-28	
1.4	製品の主要仕様・諸元	HT-4165-28 外形寸法(ホッパ・スタッカ使用時)(幅×奥行き×高さ) ; 約485×約715×約485mm 質量 ; 約43Kg 消費電力(動作時) ; 235W以下 (スリープモード機能) ; 有	
1.5	CFP算定単位	販売単位 (台あたり)	
1.6	公開日	2015年9月1日	

2. 事業者情報		
2.1	事業者名 (日本語)	株式会社 日立製作所
	事業者名 (英語)	Hitachi, Ltd.
2.2	電話番号	03-3258-1111

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	570	kg-CO ₂ e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)
3.2	内訳 (ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等) (-48)		
	原材料調達段階	210	kg-CO ₂ e
	生産段階	180	kg-CO ₂ e
	流通段階	8.7	kg-CO ₂ e
	使用・維持管理段階	170	kg-CO ₂ e
	廃棄・リサイクル段階	5.9	kg-CO ₂ e
3.3	数値表示、追加情報の内容		
	数値表示	<記載内容>	<数値表示の単位>
		0.032g	1枚あたり CO ₂ 排出量 (端数処理により左記の値は「3.1 CFP算定結果」と若干異なる場合があります)
		自社比 -13%	1枚あたり CO ₂ 排出量の削減率 (端数処理により左記の値は「3.1 CFP算定結果」と若干異なる場合があります)
	従来機種<HT-4139-28U 登録番号CR-CI05-15014>と比較した際の1枚あたりのCO ₂ 排出量の削減率をCFPマークに記載。		
	【対象機種】 ・製品名 日立OCRソリューション Imaging OCR HT-4165 ・型式 HT-4165-28 ・CO ₂ 排出量 -製品あたり : 570 kg-CO ₂ e -1枚あたり*1 : 0.032 g-CO ₂ e/枚 ・主な製品仕様 -処理速度*2 : 210 枚/分 (A4横長帳票手書き文字300字、200 dpi) -想定使用年数*3 : 5年 -規定処理枚数 : 3,600,000 枚/年	【従来機種】 ・製品名 日立OCRソリューション Imaging OCR HT-4139U ・型式 HT-4139-28U ・CO ₂ 排出量 -製品あたり : 660 kg-CO ₂ e -1枚あたり*1 : 0.037 g-CO ₂ e/枚 ・主な製品仕様 -処理速度*2 : 160 枚/分 (A4横長帳票手書き文字300字、200 dpi) -想定使用年数*3 : 5年 -規定処理枚数 : 3,600,000 枚/年	

	追加情報の記載内容	<ul style="list-style-type: none"> 測定条件；使用時電力は、国際エネルギープログラム「スキャナ」の「スリープ時消費電力および待機時消費電力」に定められた測定方法により測定したスリープ時消費電力と待機時消費電力と、光学式文字読取装置業界標準条件(※2)に定められたカタログ記載の1分間の読み取り動作により測定しております。 <p>対象製品の特徴（従来機種比較）</p> <ul style="list-style-type: none"> OCR読み取り速度の向上（210枚/分）、カラー読み取り速度の向上（420面/分） LED光源の採用 ・ 帳票サポートサイズの拡張 ・ ノンカーボンB紙の標準サポート 帳票排紙揃えパーツの標準サポート ・ 裏面印字機能のサポート（オプション） <p>※1 1枚あたりのCO₂排出量は、製品あたりのCO₂排出量を規定処理枚数[枚/年]、及び想定使用年数[5年]で除した数値となります。</p> <p>※2 光学式文字読取装置の処理速度は、通常1分間の処理枚数で表す。光学式文字読取装置から読み込み始めてから認識結果を上位のコンピュータやファイルに出力し終えるまでの処理時間から算出される。測定帳票は手書きの場合、数字が30桁×10行書かれたA4サイズのものを使う。</p> <p>※3 想定使用年数は、装置耐用年数(5年)として計算しております。</p>
3.4	備考	—

4. CFP算定結果の解釈	
4.1	CFP算定結果の解釈

原材料調達段階における温室効果ガス排出量が最も多くなりました。これは、購入素材である鉄鋼やプラスチックの生産に起因するものが大きいと言えます。但し、原材料使用量は当社データを利用していますが、原材料製造時のデータは一般的な値を利用しているため、当製品固有の特徴を反映していない場合があります。そのため、この結果は概算値としてご理解ください。

5. 算定条件					
5.1	認定CFP-PCR名称	IT機器	5.2	認定CFP-PCR番号	PA-CI-05
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースver.1.01を優先して利用しつつ、利用可能データ（国内）ver.1.04で補完した			

6. 検証情報					
6.1	検証方式	個品別検証方式	6.2	システム認証番号	—
6.3	検証番号	CV-CI05-15015	6.4	検証合格日	2015年8月24日

7. プログラム情報					
7.1	プログラム名	カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム	7.2	プログラムウェブサイト	http://www.cfp-japan.jp
7.3	プログラム運営者	一般社団法人産業環境管理協会	7.4	プログラム運営者住所	東京都千代田区鍛冶町2-2-1

8	備考	2016年3月11日 登録事業者名を変更
---	----	----------------------

(※) 二次データについては、CFPウェブサイト下記ページ参照のこと。
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>